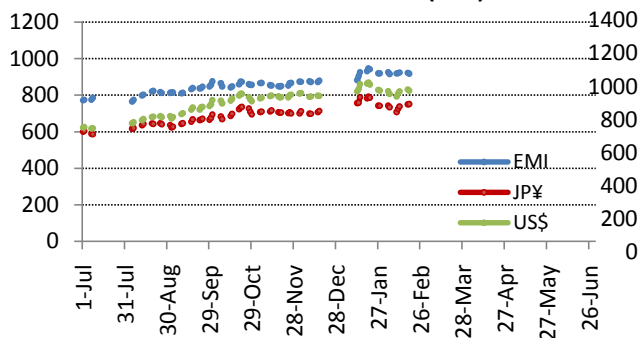


# Motohiro Weekly Market Report

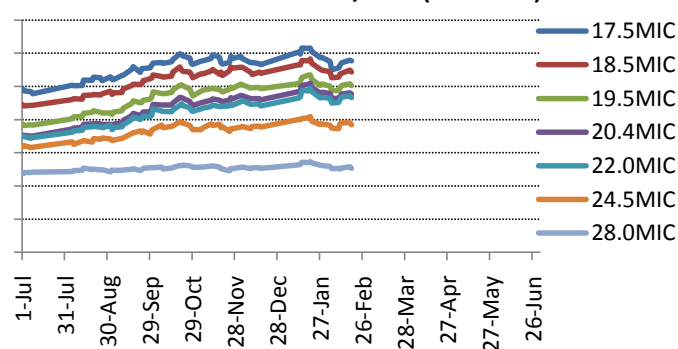
19-Feb-10

SALE WEEK 34

AWEX EASTERN MARKET INDICATER (EMI)



MICRON INDEX 2009/2010 (USC basis)



## COMMENTS

今週の羊毛セールは中国旧正月休み中で動意薄。相変わらず買付上位は中国系トレーダーが占めているがABBやQLCといったコモディティ系トレーダーの動きが幾分控えめとなり、平均買いモードのメーカー勢も含めて買い手毎の数量のバラつきが小さくなった。豪ドルは対ドルで上昇していたが、実商売も進まず、あえて上値を追いかけてロングを積み上げる程モチベーションも上がらずで、結局各社仲良く数量分けあった印象。

中身的には細番手のベタースペック&スタイルな羊毛が、ヨーロッパ勢が多少買い気を見せ始めた事で全般的に堅調展開。一方19.5mic以降の中番手メリノに関してはやや頭の重い値動き。このところ豪ドル上昇に合わせて中国商売が伸びるケースが多かったが流石に今週は商売動きも少なく、為替市場での豪ドル上昇が素直に相場の重石となった格好。雑種や紡毛市場も以下同文。

来週から中国勢が職場復帰してくるのに併せて実商売も進んでいくと思われるが、相場の見通しとしては今のところ先物市場の気配値ベースでは結構強め。出市状況やシーズン性など羊毛市場をとりまく情勢だけを見ていれば、羊毛相場は目先堅調に推移するとの見方がますます順当(高騰するという声も中にはある)。

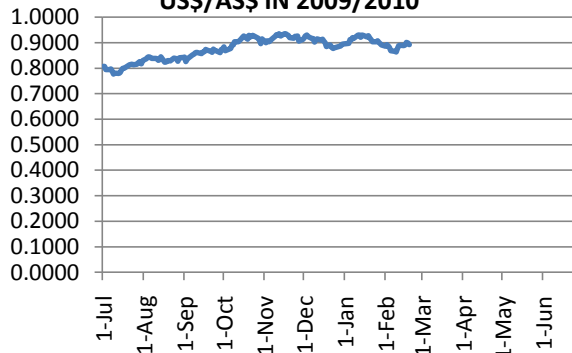
ただし羊毛価格の無視できないファクターである為替市場の動向が不透明なのはやや気掛かり。この週末にかけては再び豪ドルが弱含みとなり、それと並行して商品先物市場の値動きも軟調傾向。ここ最近羊毛相場もこうした商品市場や豪ドルの値動きにとかく同調しがちでもあり、来週再開する中国の金融市場がネガティブスタートとなる様だと、羊毛相場にも負の影響出る可能性もある。尤もそうした株や為替の動揺も基本的には調整の範疇でいずれにしても一過性に終わる公算。世界中の金融当局が金融引き締めに乗り出そうかと言うタイミングで、一昨年のような雪崩現象を想定しても始まらない。

大体今度の秋冬物生産のタイムリミットから逆算すれば、ここであれこれ考えて手当てを先延ばしにする程の時間的余裕は殆どない。来週仮に株や豪ドルが急落しようがしまいが、ここは黙って平均買いしかない。ま、余分に買う必要もないが。

## MICRON INDEX

~18.5mic	堅調。USDベースで1%上昇。
19.5mic	USDベース横ばい。
20.5mic	USDベース横ばい。
22.0-23mic	USDベース横ばい。
24.5mic	USDベース横ばい。
XBD's	USDベース横ばい。
CARDINGS	USDベース横ばい。

US\$/AS\$ IN 2009/2010



## MAIN BUYERS/BALES

TECH-	3,862	KTEX-	3,113	QLC-	2,878
FOX-	2,750	WILL-	2,632	VTR(ABB)	2,623
LEMP-	2,567	PJM-	2,521	MOD-	2,306
ASG-	2,240	CTEX-	987	GSA-	874

## NEXT SALES

Week 35 (23-25/Feb)	
NEW CASTLE	14,899 BALES
MELBOURNE	20,519 BALES
FREMANTLE	12,338 BALES
TOTAL	47,756 BALES TO BE OFFERED

<Motohiro Sydney Office>

CRB INDEX in 2009/2010

